



楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第23号
令和7年2月26日(水)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

学校評価アンケートお世話になりました

2月初旬に実施しました学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。
以下は、児童・保護者が「とてもあてはまる、ややあてはまる」と選択した割合が**低い項目(80%以下)**です。
(◎…5%以上向上、○…5%未満で向上、▽…1%未満の低下)

| 項目 | 児童 R4 | 児童 R5 | 児童 R6 | 保護者 R4 | 保護者 R5 | 保護者 R6 |
|----------------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 自分で起きることができる | 72.2 | 74.0 | 76.1○ | 56.9 | 53.8 | 57.9○ |
| 家で自分の役割(お手伝い)をしている | 75.0 | 75.6 | 80.9◎ | 74.0 | 73.9 | 75.9○ |
| 進んで本を読んでいる | 65.2 | 61.0 | 69.3◎ | 47.3 | 45.6 | 45.0▽ |
| 家庭学習や宿題に進んで取り組んでいる | 83.0 | 88.2 | 90.2○ | 68.8 | 66.7 | 66.5▽ |
| つらいことがあったとき、先生に相談できる | 64.9 | 68.5 | 75.0◎ | | | |

児童・保護者ともに、「家で自分の役割(お手伝い)をしている」で伸びが見られ、家族の一員としての取組が高まっている様子が伝わってきます。また、「進んで本を読んでいる」では、読書タイムや図書委員会による本の紹介などの企画を多く入れたことで、大きな伸びが見られました(しかし、保護者としては、「あまり読んでいない」と捉えておられるようです)。さらに、「つらいことがあったとき、先生に相談できる」の項目が2年前と比較すると10%以上の向上が見られました。これからも信頼関係を築きながら教育活動に取り組んで参りたいと思います。

学校評価の詳細につきましては、学校ホームページ(合志楓の森小 HP→本校の教育→学校評価)に**保護者のご意見に対する回答も含めてすべて掲載しておりますのでご覧ください。**

このアンケートを受けて、今年度の取組を反省し、次年度の方向性を決めていきたいと思います。

健康教育講演会

本校は、熊本県教育委員会指定健康教育推進校ということもあり、2月13日に「健康教育講演会」を以下の内容で開催しました。

○講師:日本体育大学 野井 真吾教授
○演題:「楓っ子のための元気大作戦!」
○参加者:児童(4年以上)、生徒(中1、中2)、教職員、保護者

特に、「睡眠をしっかりとることで、元気になる」というお話されました。「元気の源は質の良い睡眠である」ということが理解できたようです。ここで、講演会の感想を紹介します。

○夜ぐっすりねると、頭がさえてやる気がでてきます。ぐっすりねるためには、ねむりのホルモンであるメラトニンをふやす必要があります。そのメラトニンは、セロトニンというホルモンが暗くなることで、メラトニンにかわることがわかりました。ですから、夜にスマホなどのライトをあびるとセロトニンがメラトニンにかわらないので、ねむくならないのだと知りました。ぐっすりねてシャキッと起きるためには、昼間にセロトニンを増やすことが大切です。セロトニンを増やすためには、適度な運動をすること、深呼吸すること、外に出て太陽の光を浴びることが大切だとわかりました。これからは、しっかりとすいみんをとり、外で遊ぶ。ねる前は、スマホなどを見ない。暗くしてメラトニンを増やすことでぐっすりねたいです。

広島県盈進中学・高等学校とのハンセン病についての学習

合志楓の森小中学校は、開校4年という短い歴史の中で、「恵楓園学習」を小1~中3まで系統立てて学習しています。2月4日に本校の6年生、合志楓の森中学校の2年生、小中学校の人権委員会が、広島県福山市にある盈進中学・高等学校のヒューマンライツ部とのオンライン交流会を行いました。お互いが学習したことを報告し合ったことで、新たな取り組みにつなげができる交流会となりました。ここで、交流会に参加した6年生の感想を紹介します。

○ハンセン病回復の方々は、本当のことを言えないという苦しさを感じました。差別は国の責任だけではなく、私たち国民にも責任があると知りました。結こんも、いっしょにいるだけで差別されたり、いじめをうけひどいことをさせられたりして、ひどいと思いました。差別を完全になくすために、一つ一つの行動を考えて相手のことを思いたいと思いました。

○ハンセン病の差別について深くわかりました。差別と向き合い差別をなくしていくことを思いました。人間が一番つらいことは、本当のことを言えないことだということがわかりました。この学びから自分の思いを伝えていくことを思いました。自分たちにできることを考えて人との出会いを大切にしたいです。